



レンジフード 取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。
電動ダンパー仕様で補足説明書が同梱されているものは、それに基づき電気工事をおこなってください。

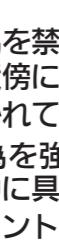
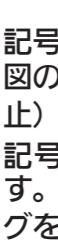
安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをすることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

△警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

△注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の緑表示で区分し、説明しています。



取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- ・大工事【設置のための下地工事等】
- ・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】
- ・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

● ダクトの不燃処理について

- ・ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の耐火交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
- ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。

● 調理機器の幅とレンジフードの幅との間のものをご使用ください。

調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。

● 屋外壁面の排気口に取り付けるペントキャップまたはパイプ式の通気抵抗は400m³/h時 50Pa以下

のものをご使用ください。

防虫網付きのものは自詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。

● レンジフードやダクトなどが他の電気製品と接触しないように取り付けてください。

漏洩器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効率をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

● レンジフード取付面の補強部に、取付用座ねじが確実に届くことを確認してください。

取付ベース・取付ベース引掛棒の取付用座ねじは45mmの長さのものが同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。

また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

● レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。

なお、レンジフード取付高さは、レンジフードの下端が調理機器の真上80cm以上になるようしてください。ただし、防火性能評定品または特定安全IH調理器適合品の調理機器の使用に限り、60cm以上、80cm未満で設置することが可能です。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。

また、横向き50cm以上離して取り付けてください。

湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

● レンジフードやダクトなどが他の電気製品と接触しないように取り付けてください。

漏洩器の真上は高熱になるため故障の原因になります。

● 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効率をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。

● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります

● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと

火災・故障の原因になります

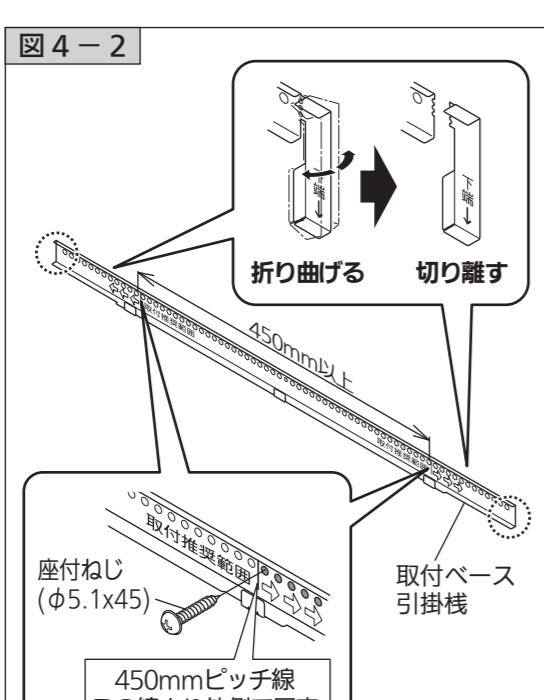
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください

火災

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた（つづき）

2 取付ベース引掛桿を取り付けます。（図4-2）



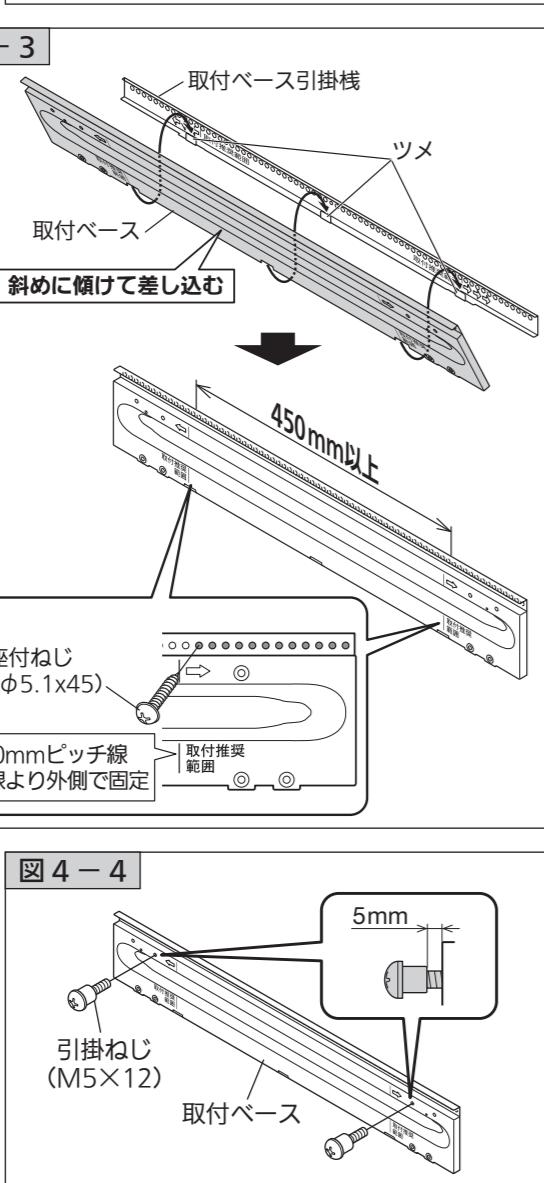
お願い

座付ねじ取り付け位置は450mm以上離し、取り付け面の補強部に確実に届く場所に固定してください。

※ 取付推奨範囲外での取り付けや壁面の強度などの影響でレンジフードが前倒れる場合は、市販のねじで増し打ちしてください。

2) 取付ベース引掛桿の両端を折り曲げて切り離します。

3 取付ベースを取り付けます。（図4-3）



お願い

※ 取付推奨範囲外での取り付けや壁面の強度などの影響でレンジフードが前倒れる場合は、市販のねじで増し打ちしてください。

4 本体を取り付けます。（図4-5）

1) 手順③の2)で取り付けた取付ベース上の引掛ねじ（M5×12）2本に本体のまだま穴を引っ掛けた後、しっかりと締め付けます。

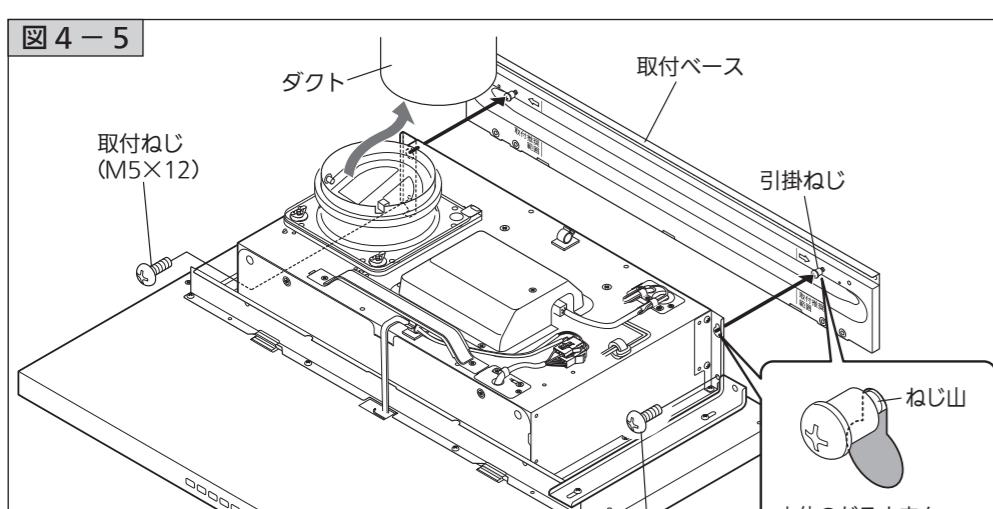
※ 取っ手は、本体を引っ掛け際の持ち手として使用できます。

お願い

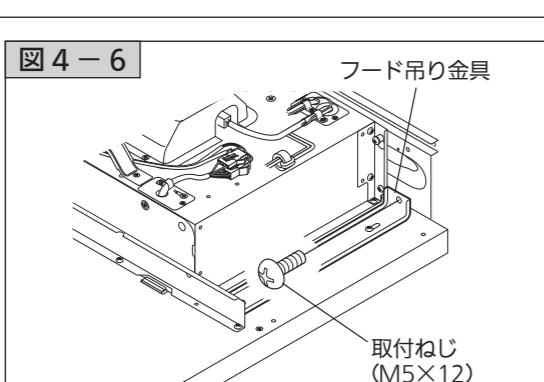
・必ず引掛ねじのねじ山に引っ掛けしてください。

・上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

2) 左右のだるま穴下側の丸穴に、付属品の取付ねじ（M5×12）2本をねじ込み、しっかりと固定します。（図4-5）



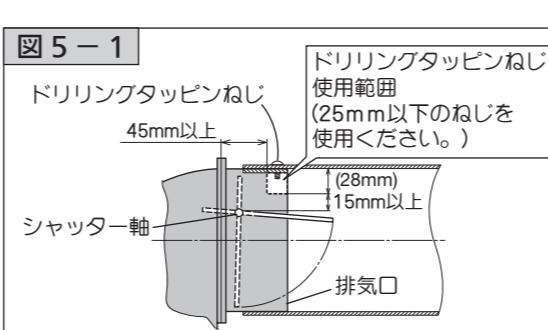
3) 左右のフード吊り金具の丸穴に付属品の取付ねじ（M5×12）2本をねじ込み、しっかりと固定します。（図4-6）



5. ダクトと排気用部品の接続

お願い

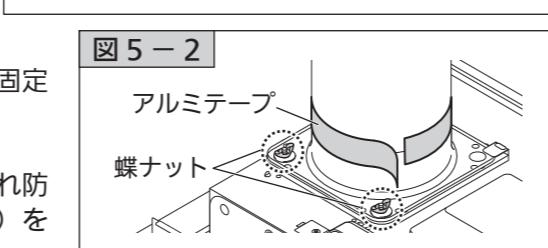
ドリリングタッピングねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピングねじ使用範囲以内に固定してください。（図5-1）



■ 上方排気の場合（図5-2）

1) 排気口の蝶ナットをしっかりと固定します。

2) ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止用テープ（アルミテープ）をあごないます。



■ 側方・後方排気の場合

1 排気口をダクトに接続します。（図5-3）

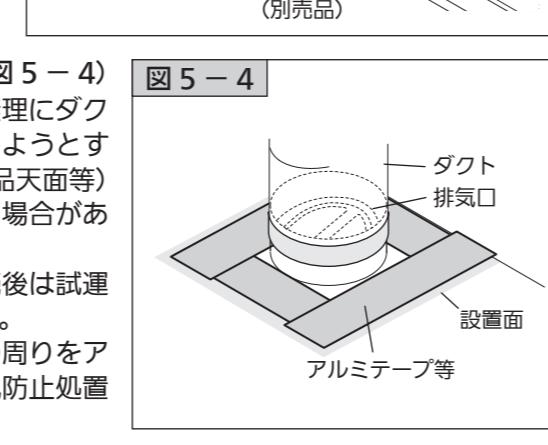
1) L形ダクト（別売品）を排気口取付部にある引掛金具のツメに差し込みながら排気口をダクトに挿入し、付属品の低頭ねじ（M4×16）2本で固定します。



2 風漏れ防止用テープ（アルミテープ）をおこないます。

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い（図5-4）

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面（製品天面等）が変形し、漏風が発生してしまう場合があります。漏風を確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。漏風の場合は、排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。



6. 取扱説明書およびオイルガード固定テープの取りはずし

■ 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。

■ 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルガードを固定しているテープをはずします。

固定テープをはずした後は整流板をもどおりに取り付けてください。

7. 電気配線

警告

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電になります。

● 分解・修理・改造禁止

● 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります。

● 使用禁止

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電になります。

● 修理技術者以外の